

月刊 社会保険 9

2022 VOL.866

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

9月24日～30日の1週間は“結核予防週間”です — 結核について正しい知識を深めよう —

9月10日～9月16日は自殺予防週間です。

【事業者のみなさまへ】 第73回 全国労働衛生週間

【従業員数101人以上500人以下の事業主のみなさまへ】 令和4年10月より社会保険の適用拡大が始まります。

【従業員数51人以上100人以下の事業主のみなさまへ】 令和6年10月の次期適用拡大に向けてご準備をお願いします。

【すべての事業主のみなさまへ】 社会保険の加入に関するその他の改正

ヤングケアラーって、知っていますか？

マイナンバーカードが健康保険証として利用できます！

9月24日～30日の1週間は“結核予防週間”です — 結核について正しい知識を深めよう —	4
9月10日～9月16日は自殺予防週間です。	6
【事業者のみなさまへ】第73回 全国労働衛生週間	8
【従業員数101人以上500人以下の事業主のみなさまへ】令和4年10月より社会保険の適用拡大が始まります。	10
【従業員数51人以上100人以下の事業主のみなさまへ】令和6年10月の次期適用拡大に向けてご準備をお願いします。	12
【すべての事業主のみなさまへ】社会保険の加入に関するその他の改正	13
ヤングケアラーって、知っていますか?	14
マイナンバーカードが健康保険証として利用できます!	16
労働法のポイント 第5回 労災保険の保険給付の種類 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
年金・健康保険委員活動報告 コロナ禍の委員・委員会活動 医療法人博愛会別府中央病院理事 宮川 喜久生	20
新たな時代の働き方改革 — AI分析でわかった トップ5%社員に共通する習慣 第5回 オンライン商談で成約率をアップさせる方法 株式会社クロスリバー代表取締役社長 越川 慎司	22
書評 ニーアル・ファーガソン 著/柴田 裕之 訳/「大惨事(カストロフィ)の人類史」	24
企業との協働がもたらすもの — “がん患者”から“生活者”支援へ 第5回 「外見」のケアでがん治療中のこころと社会生活を支える 株式会社スヴェンソン NPO 法人キャンサーリボンズ 編	25
認知症を予防する⑤ 第5回 長寿のためには、カロリー制限に加え食事時間が重要 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信事務所/イラストレーション・水森亜士/デザイン・編集協力・(有) フェイム/印刷・(株) エイエヌオフセット

表紙のこぼれ——照る日・曇る日「秋に染まる」

埼玉県/秩父市



この作品は遠方の撮影を終え、帰り道に少し遠回りしてみようと秩父の山道を走行中に出会った風景である。不思議なものは、いつどんな出会いがあるかわからない。

自然の出会いを大切に見過さずに、これは人間関係と全く一緒である。自然と人の関係。それは我々が生きていくことで最も大切なことである。

写真/竹内敏信 文/TAフォト&サウンドオフィス

コロナ禍の委員・委員会活動



医療法人博愛会別府中央病院理事

みやかわ きくお
宮川 喜久生

今更ながらですが別府市を紹介致します。別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に面した大分県の東海岸のほぼ中央に位置し、阿蘇くじゅう国立公園に属する由布・鶴見岳の麓で裾野をなだらかに別府湾へと広げる扇状地特有の地形により、緑豊かな山々や高原と波静かな別府湾に囲まれた美しい景観を誇っています。大地から立ちのぼる「湯けむり」は別府を象徴する風景として、市民はもちろん観光客からも親しまれている歴史と文化あふれる国際観光温泉文化都市です。

市内には、別府八湯と呼ばれる8つの温泉エリアが点在し、温泉の源泉の数は約2千8百カ所余り。毎分約10万3千リットルを湧出し、何れも日本一を誇っています。温泉は医療、浴用などの市民生活はもとより、観光、産業などにも幅広く活用され、古くから日本を代表する温泉地として賑わっています。最近、温泉蒸気を利用した「地獄蒸し」が人気です。しかし、ご多分に漏れずこのところの感染症の流行で温泉旅行を楽しんでいただけなのが残念です。人口は、県内では大分市につき2番目となる約12万人ですが、市内には約

●別府市・別府温泉の紹介

3千人の留学生が勉学に励んでおり、日本でも有数の異文化あふれる国際交流都市としても成長を続けています。卒業生は、地元別府市や大分県内そして日本国内あちこちで起業する人も増えています。別府市内で起業した留学生たちのパッションはオール地元民に大いなる刺激を与えてくれています。(一部「別府市の概要」より引用)



別府湾から
扇山(おうぎやま)火まつり

●事業所の紹介

当院は昭和31年6月、現在地に「田病院附属富士見診療所」として開院し、今年で66年になります。その間改築・増築を繰り返し、また診療所から

病院に改組増床を行い、平成26年3月に増築棟が完成し、現在の姿体制になつていきます。平成10年には隣接する脳神経外科病院と合併し、救急告示病院としての役割を果たしてきました。国道10号線と富士見通り交差点に位置している「円筒形のビルで飛行機のある病院」として市民県民に認識されており、ランドマークの役も果たしています。このビルは創業者である先代が東京銀座4丁目のあの建物(昭和38年築)と同じものを建てるということ、建築会社や病院スタッフを現地の視察に行かせて具体化させたものです。昭和47年に建てられ、今から50年前のことでした。

病床数は199床で、急性期から慢性期、在宅機能を兼ね備えた介護医療院そして訪問看護を始めたとした在宅支援部とで構成されており、別府市の地域医療の一端を担っております。

2年半前からの感染症の蔓延で当院も未だにその渦中にあり、発表される感染者数を追いつける毎日です。毎週木曜日に医師看護師検査技師事務スタッフ9名が「COVID」会議を開催し最新情報をもとに対策を協議実行しているところです。最近、蓄積された経験、知見を基に対応力がついて

きた感があり、発生当初の頃のように右往左往することもなく、冷静沈着に診療看護が出来ていると思っております。しかし、次々に派生する変異株・亜株には辟易です。皆さんが1日も早く以前のよう日常生活が送れることを願うばかりです。予防接種は大きな効果をもたらします。さらに新しいワクチンや内服薬が上市され早く実用段階になることを期待しています。

●健康管理

当院は医療機関であるので、年2回の職員定期健康診断は自院で実施していましたが、昨年度から健診事業者に委託することとしました。日常の外來診療をしながらの職員健診は産業医である当院の医師や看護師、各技師の大きな負担になっておりました。その解決策として、費用はかなりの額になりますが、メリットも大きいのでそう決定したところです。法定の健診項目の他に、大多数を占める女子職員の声を入れて、婦人科関係の項目を希望者には実施することとしました。他医療機関や健診機関に赴かなくて良く、大変好評で多くの受診がありました。負担金が必要な項目も、事業主の負担にし

たり、低額の負担金で受診して貰っています。疾病の早期発見と安心感を享受して貰いたいと思います。更に、オプシオン検査も出来るだけ多く受診するよう推奨しているところです。

●社会保険委員の委嘱

私は昭和53年5月に入社し、医療事務や人事経理事務を行ってきました。人事経理に関わることになった平成4年から別府社会保険委員会の諸行事・研修会に出席させて頂き、平成9年4月に社会保険委員に委嘱されました。職員の入退社に伴う健保年金関係の届け出や算定基礎届などを中心に日常業務としてこなし、社会保険事務所に足繁く通いました。11月頃の社会保険委員会大会や、健康保険軟式野球大会(選手として1回だけ参加しました)、ボーリング大会、ミニバレーボール大会、歩こう会など様々な行事がありました。なかんずく優良事業所の見学研修は印象深いものがあります。事務所管内の各職場から募集したメンバーで九州・四国・中国の事業所を見学し、労務関係の方から事業内容や労務管理の説明を受けたりしました。宿泊先のホテルでの勉強会の後の懇親会

では膝を突き合わせての情報交換が常でした。その時のメンバーが現在の委員会の役員、理事を務めて貰っています。顔の見える近しい役員さんたちです。個人的にはこういつたかたちの研修が復活することを切に願うものです。

ただ、この2年は役員会の開催が叶わず、書面同意が続いています。今年度は開催予定で準備中です。

別府年金委員会・健康保険委員会別府支所会は、別府市以北の事業所で構成されています。本年5月現在の加入事業所数は6722社、421名の年金委員の方が各職場で従業員さんたちの年金相談を受けたり、事務所へ取り次いでいただいています。

当院でも、ねんきんネットの紹介をし、了解を得て未取得者全員分のアクセスキー発行を請求したところです。若い職員には早くから関心を持ってもらい、理解を深め、誤解を解いて貰う努力をしています。

また、年金委員・健康保険委員会合同の研修会が毎年秋に開催されていますが、これまた開催中止が続いています。オンラインによる全国年金委員研修

●おわりに

委員会役員の仕事は果たせず忸怩たる思いをしながらの毎日です。必ずや感染症は収束・終息すること信じながら、全国の社会保険委員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

(大分県社会保険委員会連合会副会長)



医療法人博愛会別府中央病院